不適合の管理状況（2026年10月前半審議分）

2026年10月1日～2026年10月15日の間に、不適合判定検討会にて審議し、不適合と判定したもの。
なお、不適合事象は重要度に応じて「A～Dのグレード分け」を行い、管理の程度を定めている。

【Aグレード】　0　件

対象となる事象は、ありませんでした。

【Bグレード】　0　件

対象となる事象は、ありませんでした。

【Cグレード】　1　件

No	審議日	号機	プラント状態	不適合事象・処置計画
1	10月8日	共通	ー	2号機可搬式窒素供給装置車のコンテナ取付ボルトの材質確認において、当該ボルトが耐震計算書に記載された材質と異なる材質であることを確認した。 当該ボルトを耐震計算書に記載された材質のボルトに取り替える。 （可搬式窒素供給装置車：重大事故等発生時に原子炉格納容器内他の水素爆発を防止するための窒素ガスを製造する装置を搭載した車両）

【Dグレード】　50　件

No	審議日	号機	プラント状態	不適合事象・処置計画
1	10月2日	共通	ー	新規購入したAPDの点検において、β線照射時の読取線量当量値を計測しないものが1台あり、読取線量当量値の誤差が精度外であるものが6台あることを確認した。 当該APDを取り替えまたは校正する。 （APD：警報付ポケット線量計。被ばく線量を管理する機器）
2	10月2日	2号機	運転中	空調換気設備の室温測定において、残留熱除去設備弁室および原子炉格納容器貫通部室の室温が、設計室温を超えていることを確認した。調査の結果、外気温の上昇によるものと推定した。 当該室内に設置している機器への影響を評価する。また、評価結果を踏まえて設計室温の変更等を検討する。 （残留熱除去設備：原子炉が停止した後に燃料から発生する熱を除去する設備）
3	10月2日	共通	ー	第1チェックポイントにおいて、作業員が放射線管理区域用下着（上）を着用したまま体表面モニタを通過し、管理区域から退出したことを確認した。 放射線管理員の指示に従い、当該下着を脱衣する。また、当該者および当該者の移動経路の汚染検査を実施し、汚染が無いことを確認する。 （チェックポイント：管理区域への人の出入りを管理する場所） （体表面モニタ：体の表面に放射性物質が付着していないかを検査する装置）
4	10月2日	共通	ー	所内ボイラーの巡視において、冷却塔出口温度計の前面ガラス部にひび割れが発生していることを確認した。 当該温度計を取り替える。 （所内ボイラー：空調の暖房用機器および発電所の起動・停止時に蒸気を使用する機器等へ蒸気を供給する装置）

No	審議日	号機	プラント状態	不適合事象・処置計画
5	10月2日	共通	ー	サイトバンカ建物の空気除湿装置を切り替えるため、アフターフィルタ出口弁を閉操作したところ、当該弁の操作が通常より固いことを確認した。 当該弁のパッキンを取り替える。 （サイトバンカ建物：使用済のチャンネルボックスや制御棒等の放射性固体廃棄物を貯蔵・保管する設備を設置している建物）
6	10月2日	2号機	運転中	運転監視用計算機の環境影響評価システムサーバの点検において、ハードディスク1台の異常を知らせるランプが点灯していることを確認した。 当該ハードディスクを取り替える。
7	10月2日	2号機	運転中	タービン建物屋外のケーブルダクトにおける消防設備点検において、ケーブルダクト出入口に設置している耐火ボードの保護カバーが復旧されていないことを確認した。 当該保護カバーを復旧する。
8	10月2日	3号機	建設中	タービン設備の巡視において、タービン補機冷却海水設備の温度計ウェルフランジ部上部の保温板金および床面に海水の漏えい痕があることを確認した。 当該温度計ウェルフランジを取り替える。 （タービン補機海水設備：主タービン関係のポンプ、電動機等の機器へ供給している冷却水を冷やす熱交換器へ海水を供給する設備）
9	10月2日	共通	ー	EAMにおいて、2026年度の不適合等処置状況を確認したところ、電子記録に不備がある案件を確認した。 当該案件についてEAMの登録情報を修正する。 （EAM（統合型保全システム））：保守管理活動全体を管理するシステム）

No	審議日	号機	プラント状態	不適合事象・処置計画
10	10月2日	共通	ー	3号機消防設備の点検において、現場機器の管理番号と消防設備配置図面集の管理番号が相違していること、および消防設備配置図面集に管理番号が記載されていない箇所があることを確認した。 当該消防設備配置図面集を修正する。
11	10月6日	共通	ー	モルタル固化設備において、9月9日にモルタル充填を行った9体の廃棄体のうち1体について、廃棄体の上部空隙値が基準に適合しないことを確認した。 当該廃棄体を識別し、保管する。 （モルタル固化設備：配管廃材等の不燃性の放射性固体廃棄物をモルタルで固化する設備） （廃棄体：配管廃材等の不燃性の放射性固体廃棄物を溶融設備で溶融した物や溶融できない物を切断してドラム缶に詰め、モルタルを充填し、固化したもの）
12	10月6日	共通	ー	2号機廃棄物処理建物ベイラー室において、1号機の作業で発生した廃棄物が、ポリ袋の封がされていない状態で廃棄されていることを確認した。 当該廃棄物を回収し、ポリ袋の開口部をテープで養生したうえで、1号機ベイラー室への投函を行う。 （ベイラー室：作業等で発生した廃棄物のドラム缶詰め作業や一時的に廃棄物を保管する部屋）
13	10月6日	共通	ー	APD（100964）の点検において、読取線量当量値の誤差が精度外であることを確認した。 当該APDを使用禁止にする。
14	10月6日	共通	ー	APD（101701）の点検において、読取線量当量値の誤差が精度外であることを確認した。 当該APDを使用禁止にする。

No	審議日	号機	プラント状態	不適合事象・処置計画
15	10月6日	共通	―	APD（100528）の点検において、読取線量当量値の誤差が精度外であることを確認した。 当該APDを使用禁止にする。
16	10月6日	共通	―	APD（100661）の点検において、読取線量当量値の誤差が精度外であることを確認した。 当該APDを使用禁止にする。
17	10月6日	共通	―	APD（100014）の点検において、読取線量当量値の誤差が精度外であることを確認した。 当該APDを校正する。
18	10月6日	共通	―	APD（101282）の点検において、読取線量当量値の誤差が精度外であることを確認した。 当該APDを校正する。
19	10月6日	共通	―	モルタル固化設備において、9月17日にモルタル充填を行った9体の廃棄体のうち1体について、廃棄体の上部空隙値が基準に適合しないことを確認した。 当該廃棄体を識別し、保管する。

No	審議日	号機	プラント状態	不適合事象・処置計画
20	10月6日	共通	―	モルタル固化設備において、8月20日にモルタル充填を行った8体の廃棄体のうち2体について、廃棄体の上部空隙値が基準に適合しないことを確認した。 当該廃棄体を識別し、保管する。
21	10月6日	共通	―	APD（101063）の点検において、読取線量当量値の誤差が精度外であることを確認した。 当該APDを使用禁止にする。
22	10月6日	共通	―	APD（101377）の点検において、読取線量当量値の誤差が精度外であることを確認した。 当該APDを校正する。
23	10月6日	共通	―	APD（100187）の点検において、読取線量当量値の誤差が精度外であることを確認した。 当該APDを校正する。
24	10月6日	共通	―	APD（100943）の点検において、読取線量当量値の誤差が精度外であることを確認した。 当該APDを校正する。

No	審議日	号機	プラント状態	不適合事象・処置計画
25	10月8日	共通	ー	2号機原子炉建物西側の鉄筋組立作業において、鉄筋を接続するスリーブを上部から下部へ受け渡していたところ、上部にいた作業員が下部の作業員からの応答があったと誤認したことによりスリーブから手を離し、下部の作業員が落下したスリーブと鋼材の間に指を挟んだことを確認した。**（2026年10月14日お知らせ済み）** 当該作業員を病院で受診させる。
26	10月9日	2号機	運転中	排ガス処理設備の水素サンプリング装置において、排ガス予熱器入口ガス除湿器の温度が高いことを知らせる警報が発報したことを確認した。 原因を調査し、必要により当該計器を取り替える。
27	10月9日	共通	ー	3号機地下水位低下設備の設置工事における吊搬作業において、合図者および玉掛者が、それぞれの役割を識別するための表示を身につけていないことを確認した。 合図者および玉掛者に、それぞれの役割を識別できる表示を取り付けるよう指導する。
28	10月9日	3号機	建設中	屋外ケーブルダクト内排水ポンプの点検において、当該ポンプを起動したところ、漏電遮断器が動作したことを確認した。調査の結果、当該ポンプを空運転させたことによる故障と推定した。 当該排水ポンプを取り替える。
29	10月9日	共通	ー	雑固体廃棄物処理設備の投入容器全数について動作確認を行ったところ、複数の投入容器が溶融物投入機と接触することを確認した。調査の結果、投入容器または投入容器台座の位置のずれによるものと推定した。 当該投入容器および投入容器台座の位置を調整する。 （雑固体廃棄物処理設備：配管廃材等の不燃性の放射性固体廃棄物を溶融、固化処理する設備） （溶融物投入機：溶融処理する雑固体を溶融炉に投入する装置）

No	審議日	号機	プラント状態	不適合事象・処置計画
30	10月9日	共通	ー	2号機原子炉建物西側ヤードの立坑内における昇降設備の設置作業において、設備の固定状態を確認していたところ、角度固定用のボルトが外れて設備の角度が変わり、作業員が可動部に右手薬指を挟み、負傷したことを確認した。 当該作業員を病院で受診させる。
31	10月9日	2号機	運転中	原子炉格納容器冷凍機の点検において、保温材が経年劣化していることを確認した。 当該保温材を取り替える。
32	10月9日	共通	ー	サイトバンカ設備の消防設備点検において、避難口誘導標識の輝度が基準値を満足していないことを確認した。 当該誘導標識を取り替える。
33	10月9日	共通	ー	ゲルマニウム核種分析装置による測定中に、停止操作をしていないにもかかわらず、高電圧電源が異常停止していることを確認した。 調査の結果、液体窒素の残量低下によるものと推定した。 液体窒素を補充する。 （ゲルマニウム核種分析装置：放射線のエネルギーを測定し、線源である放射性物質の特定を行う装置）
34	10月9日	2号機	運転中	原子炉浄化設備の計器点検において、炉浄化系pH計の指示値の誤差が精度外であることを確認した。 当該pH計を校正する。 （原子炉浄化設備：原子炉内を循環する冷却水から不純物を取り除き、水質を管理するための設備） （pH計：酸性、アルカリ性の度合を示す計器）

No	審議日	号機	プラント状態	不適合事象・処置計画
35	10月9日	共通	ー	モルタル固化設備において、９月２９日にモルタル充填を行った8体の廃棄体のうち1体について、廃棄体の上部空隙値が基準に適合しないことを確認した。 当該廃棄体を識別し、保管する。
36	10月9日	共通	ー	2号機グランド蒸気排ガスフィルタの高性能フィルタの漏えい確認試験において、既設貫通部の使用申請が承認されていない状態で、当該貫通部に試験用ホースを通して使用したことを確認した。 当該貫通部から試験用ホースを取り外し、作業前の閉止状態に復旧する。 （グランド蒸気排ガスフィルタ：タービングランド蒸気系からの排ガスに含まれる放射性および非放射性の固体状粒子を捕集・除去する設備）
37	10月13日	共通	ー	雑固体廃棄物焼却設備の運転中において、雑固体投入系の異常を知らせる警報が発報したことを確認した。調査の結果、投入ダンパ駆動用電磁弁の排気フィルタの詰まりにより、投入ダンパの動作が遅くなったものと推定した。 当該電磁弁の排気フィルタを清掃する。 （雑固体廃棄物焼却設備：可燃性の廃棄物を焼却する設備） （投入ダンパ：焼却炉への雑固体投入時に投入口を開閉する機器）
38	10月13日	3号機	建設中	換気空調補機非常用冷却水系設備の監視用カメラにおいて、視点を切り替えたところ、画面が緑色となり、映像を確認できないことを確認した。 当該監視用カメラを補修する。
39	10月13日	共通	ー	3号機原子炉建物の巡視において、消火栓が火気養生シートで覆われており、視認しにくい状態であることを確認した。 当該火気養生シートを取り外し、消火栓を視認できる状態にする。

No	審議日	号機	プラント状態	不適合事象・処置計画
40	10月13日	共通	－	3号機原子炉建物の巡視において、消火器が火気養生シートで覆われており、視認しにくい状態であることを確認した。 当該火気養生シートを取り外し、消火器を視認できる状態にする。
41	10月13日	共通	－	3号機原子炉建物の巡視において、配管工事用資材に掲示されている仮置き表示の期限が切れていることを確認した。 当該工事用資材に承認済みの仮置き申請書を掲示する。
42	10月13日	共通	－	3号機原子炉建物の巡視において、現場の作業干渉により一時的に保管場所を変えていた踏台（R1B－509）の仮置き申請を失念していることを確認した。 当該踏台の仮置き申請を実施する。また、現場に承認済みの仮置き申請書を掲示する。
43	10月13日	共通	－	3号機原子炉建物の巡視において、現場の作業干渉により一時的に保管場所を変えていた踏台（R1B－058）の仮置き申請を失念していることを確認した。 当該踏台の仮置き申請を実施する。また、現場に承認済みの仮置き申請書を掲示する。
44	10月13日	共通	－	3号機原子炉建物の巡視において、現場の作業干渉により一時的に保管場所を変えていた踏台（R1F－163）の仮置き申請を失念していることを確認した。 当該踏台の仮置き申請を実施する。また、現場に承認済みの仮置き申請書を掲示する。

No	審議日	号機	プラント状態	不適合事象・処置計画
45	10月13日	共通	ー	3号機原子炉建物の巡視において、現場の作業干渉により一時的に保管場所を変えていた踏台（R1F－051）の仮置き申請を失念していることを確認した。 当該踏台の仮置き申請を実施する。また、現場に承認済みの仮置き申請書を掲示する。
46	10月13日	共通	ー	3号機原子炉建物の巡視において、現場の作業干渉により一時的に保管場所を変えていた踏台（R4F－805）の仮置き申請を失念していることを確認した。 当該踏台の仮置き申請を実施する。また、現場に承認済みの仮置き申請書を掲示する。
47	10月13日	3号機	建設中	復水器連続洗浄装置エリアの巡視において、ページング装置のケースに腐食があることを確認した。 当該ケースを補修または取り替える。 （復水器連続洗浄装置：復水器の海水配管に生物が付着することを防止するために定期的に洗浄するための装置） （ページング：通話機能を備えた放送設備）
48	10月13日	3号機	建設中	中央制御室において、プロセス計算機のデータ記録サーバの異常を知らせる警報が発報したことを確認した。調査の結果、空調設備の冷却水系統の停止により、サーバ計算機盤内の温度が上昇したものと推定した。 サーバ計算機盤内を冷却する。
49	10月13日	3号機	建設中	出入管理棟の自動ドア点検において、外側自動ドアの開閉時に扉ががたつくことを確認した。調査の結果、扉を支持するローラーが摩耗したものと推定した。 当該ローラーを取り替える。

No	審議日	号機	プラント状態	不適合事象・処置計画
50	10月13日	3号機	建設中	出入管理棟の自動ドア点検において、内側自動ドアの駆動プーリにひび割れがあることを確認した。 当該駆動プーリを取り替える。 （駆動プーリ：ベルトを介して、モーターの回転力を駆動側に伝える円盤状の部品）